

オープンフォーラム in 仙台 ~来場者アンケートより~

◎職業やお立場：ご遺族、医師、看護師、学生、家族の会会員、その他（おむつメーカー社員など）

◎満足度：期待以上(40%)、期待通り(25%)

参加動機、感想など

ご遺族

- * 同じ境遇の方がどのようにして再生されているのかを知りたいと思った。また SIDS を含め、子どもを失くすことが医療者側からどのように捉えられているのか。SIDS の情報が得られるかもしれないと思った。
- * 以前より興味があり、仙台での開催であったため
- * ミーティングに参加できずにいたので参加してみたかった。
- * 機会があれば、何回でも参加したい
- * 我が子を亡くして2年たち、もう消化したつもりでいても、内心、疑問のこと（特に解剖についての話が興味深かった）が少し解決したりした。
- * 体験談はどのお話にも共通点があり、すごく共感した
- * ぜひ東北地区でのミーティングをお願いします。
- * 体験談を伺い、自らの悲しみに我慢したり耐えたりせずに、次々とわきだしてくることに向かい合えたように感じます。
- * 素晴らしいフォーラムで感謝です。継続的な啓発活動が必要だと感じます。
- * 医療者の参加が増えるといいと思いました。もう少し時間をかけられると良いですね。体験者の方は何年たっても同じ思いなんだと感じました。一人じゃないと思えました。久しぶりにたくさん泣くことができました。

看護師

- * グリーフケアに関心がある
- * 様々な視点からお話を伺うことができた。特にご遺族自身のお話を伺うことは医療者として本当に貴重で大切なことだと思います。
- * また今後も、学会等でフォーラムを開催してください。

医師

- * 遺族の体験談を直接聞いてみたいと思ったので。
- * 医師として知っておく必要があると考える。
- * 三次医療施設で働く中で、突然死、乳児の死亡例などを経験しました。小児科医として家族の方の対応をする中で難しさを感じたため、家族の方や関係される医療者の方の話を聞いてみたかった。
- * SIDSに興味があり、家族との関わりについて知りたかった。
- * 素晴らしい活動であり、今後もぜひ続けていって欲しいと思います。初めてこうした会に参加しました。
- * イギリス・フィンランドで死後検査に小児科医がチームの一人として参加しているのは素晴らしいと思いました。これまでご遺族の意見を伺う機会が少なく、大変貴重な時間でした。
- * 突然死、乳幼児の死亡例に対して家族の方に解剖の話をするのは、してはいけないことではないかとか、どのタイミングで話をしたらいいか分かりませんでした。解剖を望まれる方が多いことや解剖して良かったと思われる方が多いことを知って考えを改めました。

説明の仕方やタイミングはまだ難しいことがありますが、自分で考えてうまく説明できるようになろうと思います。また、遺族の方に ”よりそう” といったことをできるようにしていきたいです。

遺族の方々のお話を聞かせて頂いたのは初めてです。長期入院で亡くなられた患者さんの遺族の方とはまた少し違った、短い期間の付き合いの方とどのように向き合ったらいいのか、分からないことだらけでした。自分が良かれと思って言う言葉も遺族の方からは傷つく言葉もあると知りました。言葉をかけることが全てではないと ”よりそう” ということの大切さを知りました。

学生

- * 体験談を聞くことで新たな気づきがあるのではという期待から
- * ビフレンダー3名の方が活動することが大変勇気がいること、共有することで自身も周囲も勇気を与えあえるものだなあと思いながら聞きました。

その他

- * 出産に関連するポジティブな面だけではなくネガティブな要素についてより自身を深めるため
- * 必要な知識と思っている。ご家族様のお話、先生方のお話をお聞きしたかったので。

- * 医療者と遺族の両面からの考え方を聞いたことがよかった。
- * 救急医療関係者をはじめ全ての皆様に会のご活動、フォーラムを知って頂きたいです。
- * このような活動が継続できるよう微力ながらお力添えを出来ればと思います。
- * 今まで知らなかった世界の話で大変勉強になりました。自分なりに行動できることを考えていきたいと思います。